

空間認知を解決するための “Voice Landmark”

【中間報告】

実施期間：令和5年5月～9月

LOOVIC株式会社



・背景・課題

▶宇部市として

- アート、自然環境、宇部市ならではの観光・地域資源の魅力の磨き上げによる「魅力度の向上」が必要。
- 認知度の向上」のため、インバウンド需要を見込んだプロモーションが必要。
- マイクロツーリズムや、SDGs を考慮したサステナブルツーリズムなどにより「交流人口の拡大」が必要。

▶ときわ公園として

- 現状ガイドサービスが存在しているが、主に団体向けの予約での利用がメイン。個人での利用が普及していない。

▶地域利用者として

- 少子高齢化が進み、地域回遊性の向上も課題であり、外出し、健康寿命の延伸に向けた取り組みが必要である。

・事業内容

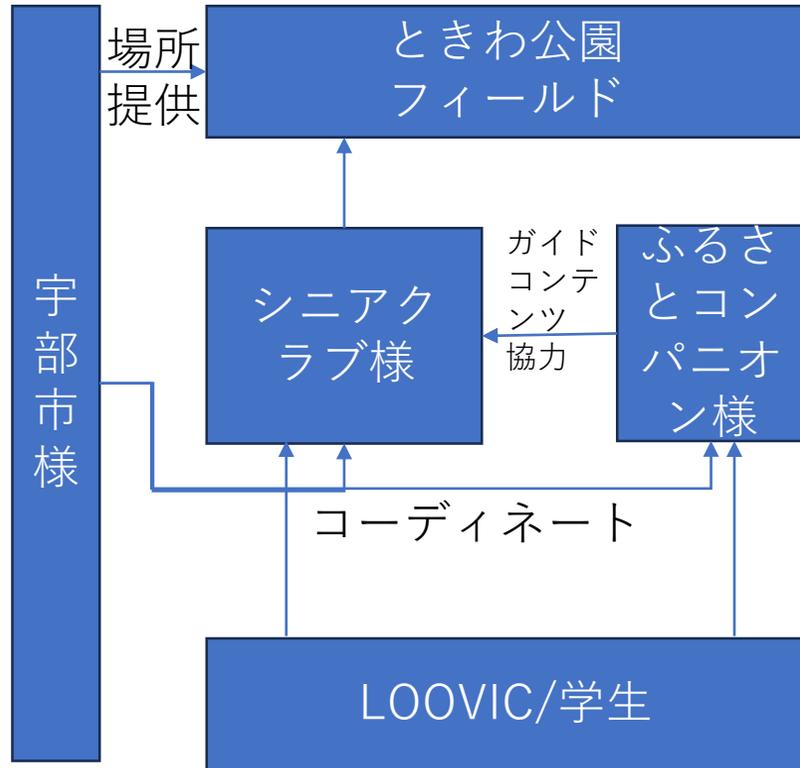
▶ときわ公園で、LOOVICのナビガイドサービスを利用する。

- 場所：ときわ公園入口から開始 ガイドは2つ用意する。
 - ① ふるさとコンパニオンさんのナビガイド（事前にふるさとコンパニオンさんに録音してもらう）
 - ② 利用者が歩いて自分でナビガイドの録音をしてもらう（一緒に歩いて録音してもらう）
- 実施方法：耳空きのイヤホンとスマホをペアリングした機材を持ち、案内に沿って移動してもらう。
- 技術の新規性・優位性：誰でも簡単に気軽にナビガイドが利用でき、作ったものがシェアでき、第三者でも利用できる点。
案内はナビ&ガイドが含まれることで、画面を見ずに移動ができる点
- 参加者募集の有無 Day 1 地域のシニアクラブ
Day 2 公園を歩く方々（一般住民）

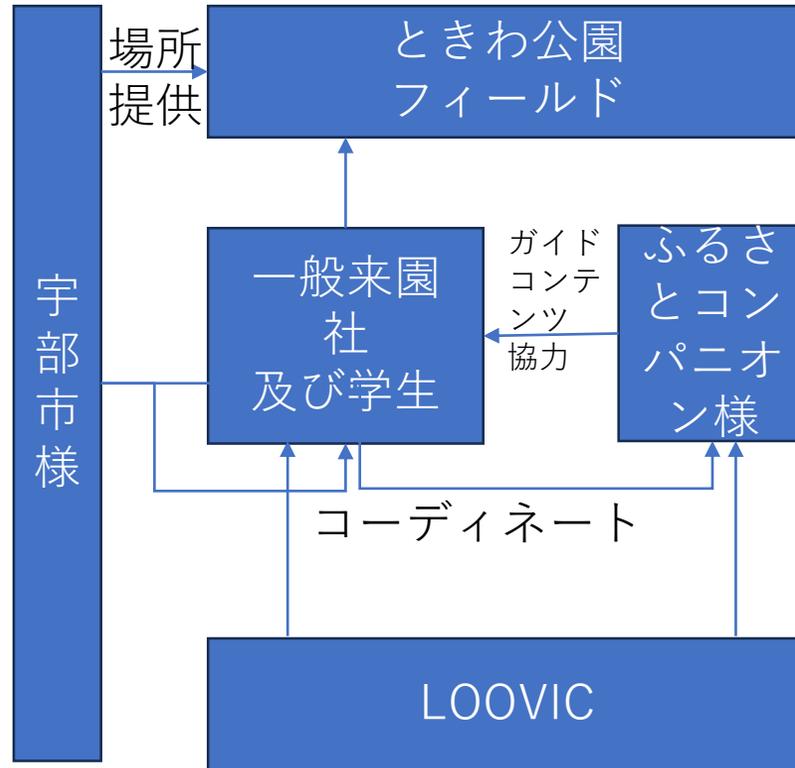


・ 体制図、役割分担

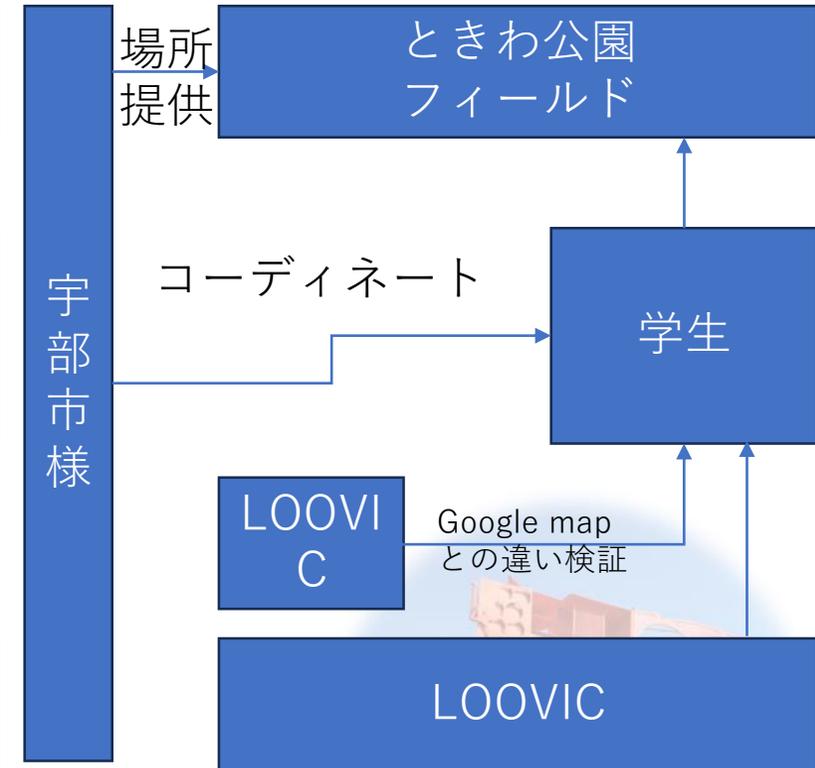
実証①

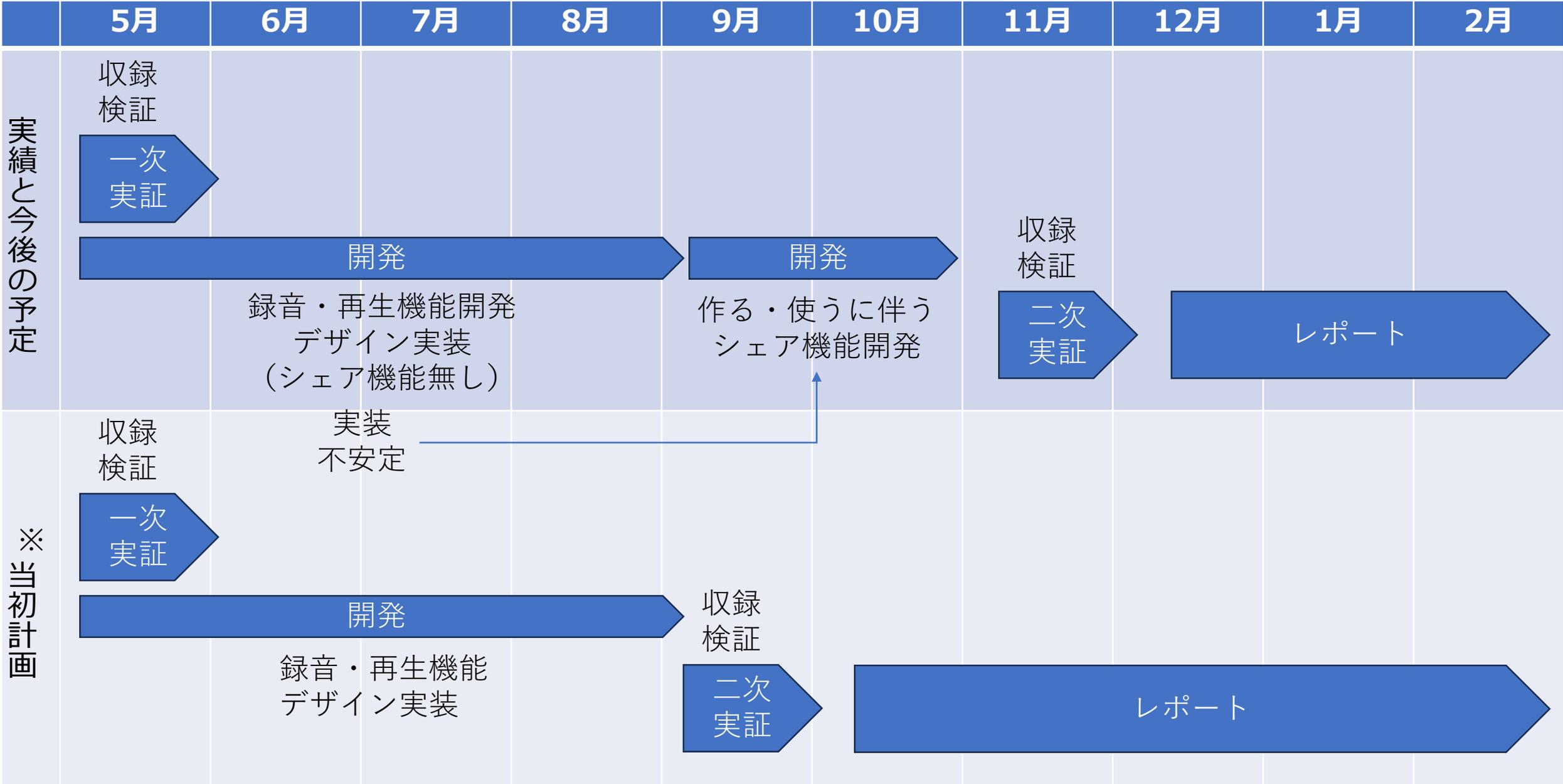


実証①' (シニアではない)



実証②





実装
不安定

開発

録音・再生機能
デザイン実装

開発

録音・再生機能開発
デザイン実装
(シェア機能無し)

開発

作る・使うに伴う
シェア機能開発

収録
検証

二次
実証

レポート

収録
検証

二次
実証

レポート

- ・ これまでに得られた結果と課題

5月に音の収録を実施。ガイド音声は長く、想定以上に歩くスピードが遅くなった。

LOOVICのコンセプトは、おさんぽツールであるという定義に変わってきている。

ガイド音声はできる限り途切れないようにしたい。

もう少し長くとどまり、詳しく聞きたい場合は、別のポップアップ詳細説明などの案内を使うのが望ましい。

- ・ 今後の解決策と計画

歩行を30mおきに30mのコエのマップとし、15秒間の音声収録にとどめたい。

シンプルな案内により、散歩コースを楽しんで頂く。

ガイド中心ではなく、散歩中心コンテンツに変えることにより、

歩き続ける行動変容を起こすサービスをときわ公園内外で利用できるようにしていきたい。

